

例2 冬の花探しをする。

※ 例 ツバキ、サザンカ、ヤツデ、ビワ、オオイヌノフグリ、ナズナ、ハコベ（日あたりのよいところ）

冬の野山を観察し、冬の自然に親しむ楽しさを味わわせる。

例1 学校の近くの野山に出かけ、草や木がどのようになっているか観察する。

- 根を掘りおこしてみる。
- 枝から芽が出ている様子を観察する。
- ※ 枝を折ったり皮をはいたりすると内側に生きている層がある。

例2 見たこと、ふしぎなこと気付いたことなどを絵や作文、詩などに表現する。

児童の作品

冬の草や木	冬の草や木
<p>今は、雪がふって、さむい冬なのに、何もなかったようにそのまま、緑のはきつけて、生きている木があったので、おどろいた。木のぬや、花のぬや、雪が、かぶさっていても、生きていたの、どうしてだろうと思った。リッパにはどっけている木もあるのに、アオキりは、ぜんぜん、はが、なかった。えだも、えだによって、色が、ちがった。このように、さむい冬でも、いろいろな草や木が生きていることに、気がついた。</p>	<p>ぼくは、おどろきました。なぜかという、冬のさむい中木や、草が、ちゃんと、かれないでいるのも、あったし、なんだか、かれそうなのもあったからです。なかには、つぼみが、ついているのもあった。ゆきの下でも、ちゃんと、アブラナが、めをだしてました。ぼくは、すごいなあーと思いました。冬の間は、さむいけれど、ちゃんと生きているんだなあーと思った。</p>
J・K 川上	J・K 川上